

〈A群溶血性レンサ球菌咽頭炎・手足口病について〉

南部保健所管内では、定点あたりの報告数がA群溶血性レンサ球菌咽頭炎は10.33、手足口病は5.33と、報告レベルを超えました。

引き続き、手洗い等基本的な感染予防対策を心掛けてください。

体調に変化を感じた場合は、早めにかかりつけ医や外来対応医療機関を受診してください。

今後の感染予防・感染拡大防止に向けた注意喚起「4つのお願い」

1. 「基本的な感染対策」で感染予防！

室内の換気(寒くても換気しましょう)、手洗いの励行、咳エチケット、場面に応じたマスク着用など

2. 「ワクチン接種」で重症化予防！

高齢者や基礎疾患のある方は、特に接種をおすすめします。

3. 「体調おかしいな？」は休んで感染の拡大防止！

少しでも体調に異変を感じたら、ちゅうちょせず休みましょう。コロナは5日間、外出を控え療養を。

4. 解熱剤等の常備薬を準備！

体調不良時の療養に備え、早めに準備しておきましょう

南部保健所(0972-22-0562)

4月以降の新型コロナウイルス感染症対策の詳細は県庁ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.oita.jp/site/covid19-oita/covid19-1.html>

〈麻疹(はしか)について〉

現在、国内において、海外からの輸入症例が契機と考えられる感染伝播事例が報告されています。

麻疹ウイルスは感染力が非常に強く、空気感染により簡単に人から人へ感染が拡がるため、麻疹の免疫(抗体価)が不十分なひとが感染すると高い確率で発症します。

詳細は別紙リーフレット「麻疹(はしか)」をご覧ください。

感染症発生動向調査の結果(南部保健所管内)

《定点報告》

令和6年第19週(5月6日~5月12日)

《全数報告》

	インフルエンザ			COVID-19	RSウイルス	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	肺炎マイコプラズマ	麻疹	麻疹(はしか)	百日咳
	A型	B型	不明															
0歳										1.33								
1~3歳							1.00	2.00		3.33		1.00	0.33					
4~6歳				0.20		0.67	2.00	1.33										
7~9歳							4.33	5.00		0.33								
10~14歳	0.40			1.40			2.33	1.67	0.33	0.33								
15~19歳								0.67										
20歳以上				2.00			0.67	2.67										
計	0.40			3.60		0.67	10.33	13.33	0.33	5.33		1.00	0.33					
70歳以上(再掲)																		
前週	0.20	2.80		2.80			2.67	6.00		0.67		0.67	0.33					

警報レベル ■

注意報レベル ■

※感染症発生動向調査について

○感染症については、原則医師からの報告により全数を把握していますが、インフルエンザなどの特定の疾病については、指定された医療機関(定点)からの報告で発生状況を把握しています。(定点医療機関数 インフルエンザ5箇所、小児科3箇所)(ここにあげた数値は、1定点あたりの平均の患者数となります。)

○警報レベルは大きな流行が発生または継続していると疑われることを指します。注意報レベルは、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いことを、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

掲載内容について、不明な点がある場合は、下記へお問い合わせください

大分県南部保健所

電話 0972-22-0562

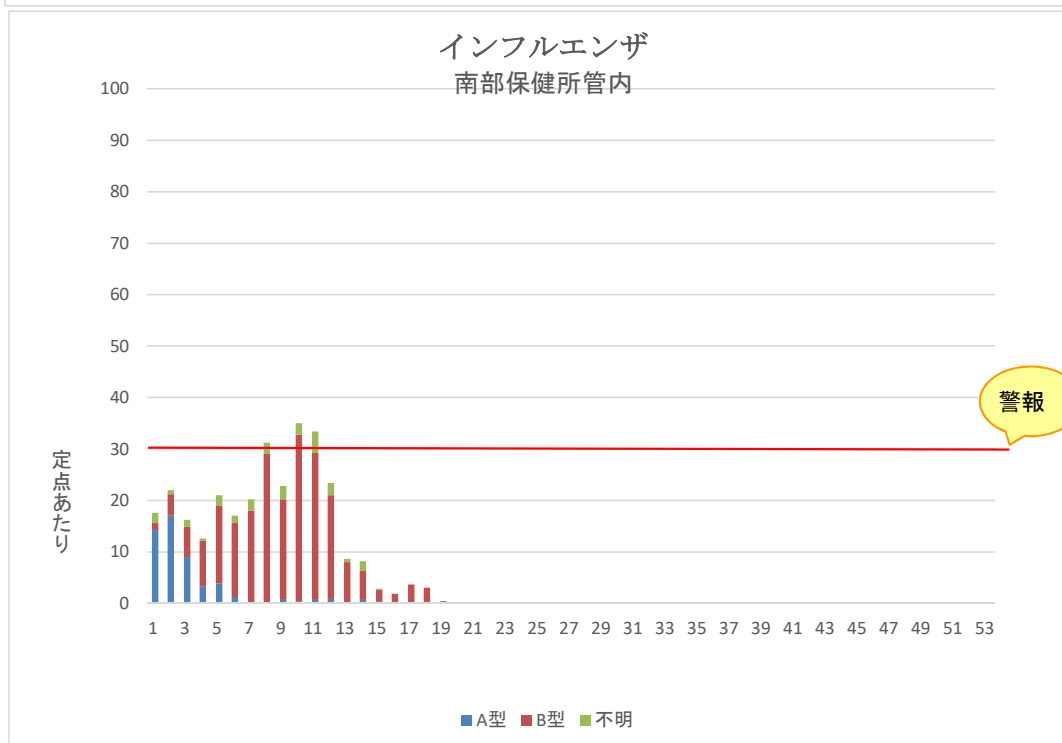
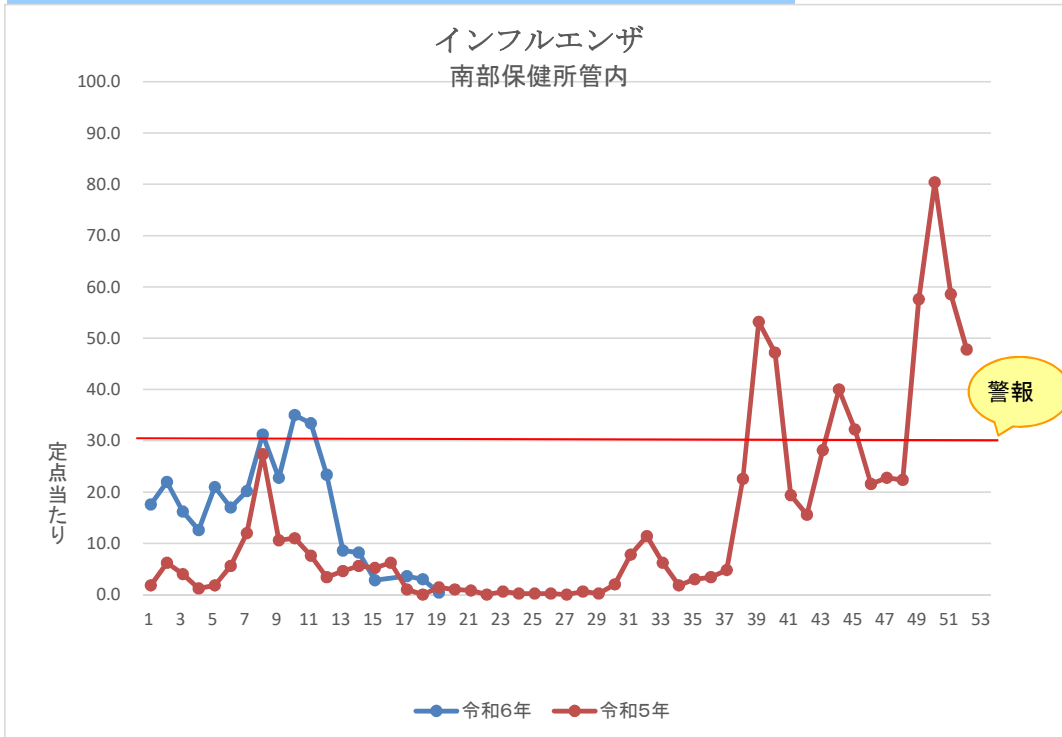
Eメール a12085@pref.oita.lg.jp

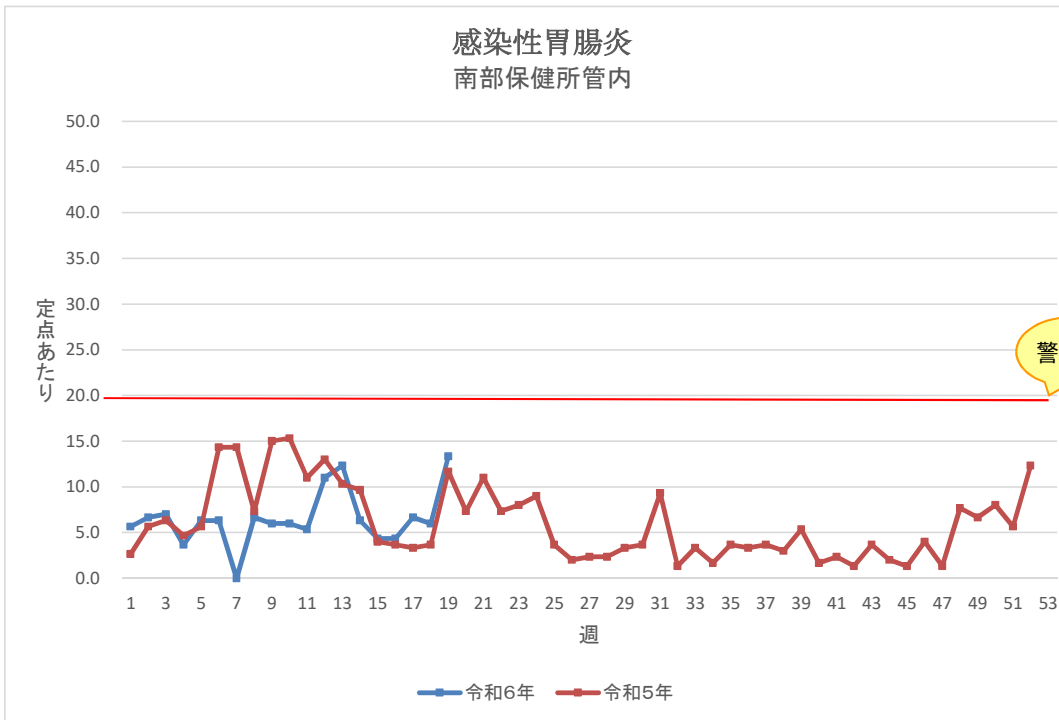
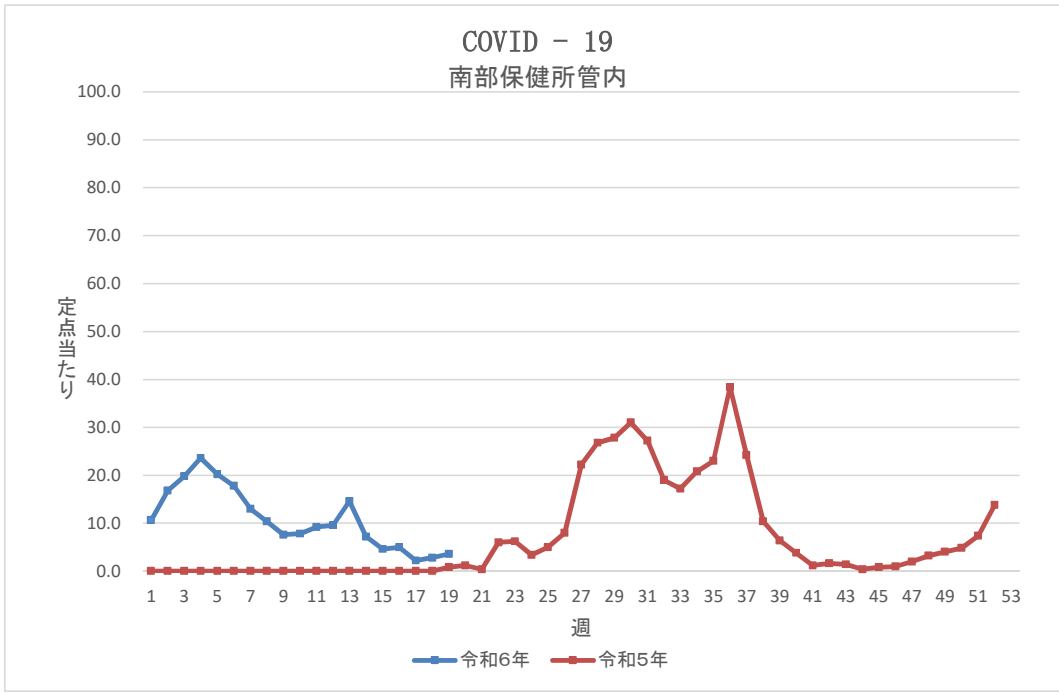
FAX 0972-25-0206

新型コロナウイルス感染症の定点報告結果

週	期間			報告数	定点あたり
1	1/1	～	1/7	53	10.60
2	1/8	～	1/14	84	16.80
3	1/15	～	1/21	99	19.80
4	1/22	～	1/28	118	23.60
5	1/29	～	2/4	101	20.20
6	2/5	～	2/11	85	17.00
7	2/12	～	2/18	65	13.00
8	2/19	～	2/25	52	10.40
9	2/26	～	3/4	38	7.60
10	3/5	～	3/11	39	7.80
11	3/12	～	3/18	46	9.20
12	3/19	～	3/25	48	9.60
13	3/26	～	4/1	73	14.60
14	4/2	～	4/8	16	3.20
15	4/9	～	4/15	23	4.60
16	4/16	～	4/22	25	5.00
17	4/23	～	4/29	11	2.20
18	4/30	～	5/6	14	2.80
19	5/7	～	5/13	18	3.60
20	5/14	～	5/20		
21	5/21	～	5/27		
22	5/28	～	6/3		
23	6/4	～	6/10		
24	6/11	～	6/17		
25	6/18	～	6/24		
26	6/25	～	7/1		
27	7/2	～	7/8		
28	7/9	～	7/15		
29	7/16	～	7/22		
30	7/23	～	7/29		
31	7/30	～	8/5		
32	8/6	～	8/12		
33	8/13	～	8/19		
34	8/20	～	8/26		

グラフで見る佐伯地域の感染症発生状況





疾患ごとの警報・注意報の基準値は以下のとおりです。

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
百日咳	1.0	0.1	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0
急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—
流行性角結膜炎	8.0	4.0	—

なお、基準値はすべて定点当たりの値です。また注意報の数字が入っていないものは、注意報の対象外という意味です。

「麻疹(はしか)」

の感染事例が報告されています！

海外渡航後の感染、また国内での感染にも注意が必要です。

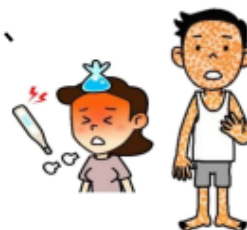
感染経路

麻疹ウイルスは感染力が非常に強く、空気感染等により、簡単に人から人に感染します。麻疹の免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。

症状

高熱、全身の発しん、せき、鼻水、目の充血など

肺炎や中耳炎になることがあり、まれに、重い脳炎を発症することもあります。先進国であっても、1,000人に1人が死亡するといわれています。



症状がある場合

医療機関に電話等で麻疹の疑いがあることを伝え以降は医療機関の指示に従ってください。医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

予防

ワクチン接種が有効です。定期接種対象者(1歳児、小学校入学前1年間の幼児)、医療・教育関係者、海外渡航を計画している方は、予防接種が済んでいるかご確認ください。

※新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、接種を延期されていた方は、規定の接種時期ではない時期に接種を行った場合についても、定期接種として取り扱われ得ますので、お住まいの市町村にご相談ください。

詳しくはこちら

麻疹 厚労省

検索

厚生労働省
麻疹について ▶

